

3. 「情報」を切り口に「子育て」「子育て支援」について考えること

昨年度の大きな成果は、「子育てカレンダー」の発行でした。「かるがも・ねっと」として、情報の発信・提供に乗り出したわけですが、始めてみると、お父さん、お母さんがどのような情報をどのように得て子育てをしているのか、更に、今、どのような情報を必要としているのか、逆に、支援者としてお父さんやお母さんにどのような情報を伝えたいのか、案外、わかっていないことに気づきました。「子育てカレンダー」の発行を契機に、今年度は、「子育て情報」「子育て支援情報」について、考えていきたいと思えます。『子育て支援ハンドブック』の改訂も望まれます。

4. 支援の迷い・戸惑いを共有し、共に解決の道を探ること

「ネットワーク」として互いのつながりができるなかで、支援に迷い、戸惑うケースのことが話題にのぼって来ています。個別のケースに関わるような、より、踏み込んだ情報・意見の交換、支援の橋渡しができるようになってきています。昨年度、目標に掲げた「支援の人たちの顔合わせの場をつくること」「声を掛け合う関係を、より、多く育むこと」を踏まえて、更に一步、「かるがも・ねっと」の活動を、個別的・具体的な支援につなげていけたらと思います。

昨年度も、「目標と課題」の最後に掲げました。

焦らず、コツコツと、息の長い活動にしたいものです。

ヨチヨチ歩きの「かるがも」を、みんなで育てていきましょう。

学習会の報告

2007年2月28日に行われた第14回学習会は、3回連続で取り上げた「子育て支援における『安心・安全』」の最終回として、「こんなとき、あなたならどうしますか？～安全対策について考える～」をテーマに開催されました。内容としては、地震や不審者の侵入に対する具体的な対応を検討し、その後、支援の場で必要となる保険やマニュアルについて学びました。また、かるがも・ねっと総会（2007年6月9日）につづいて開かれた、第15回の学習会では、「子育て支援者として学びたいこと」という学習会の基本に立ち返り、今後の学習会のテーマにつながる課題について話し合いました。今回のニュース・レターでは、第14回の流れと論点、ならびに、第15回で出された課題の概要について、ご紹介していきます。

1. 「子育て支援の場における安全対策」について 第14回学習会より

(1) 普段の活動時における安全確保を考える

状況設定1：「普段の子育て支援の活動時に、地震が起こったら・・・」

地震が起きた際の対応としては、大きく分けて「事前の準備」「災害時の対応」の二つの事柄が話し合われました。まず、地震に備えて前もってしておく「事前の準備」としては、「広域避難場所の確認」、連絡係や誘導係、火の管理の係等の支援者内での「係り決め」、「避難訓練の実施」等が挙げられました。また、「災害時の対応」としては、対応の手順として、揺れが続いている間は基本的に動かず、揺れが収まった時点で「出入り口の確保」「火の始末」をすること、また、その後はできるだけ早く「安全な場所へ誘導」し、移動が済んだ時点で「人数・けがの確認」や「連絡手段の確保」をすることが確認されました。さらに、「事前の準備」に関連するものとして、防災や救急救命等の知識を得るためには、消防署の講習が有効であるとの情報も出されました。

状況設定2：「普段の活動時に、不審者が入ってきたら・・・」

つづいて、不審者が活動場所に侵入した際の対応について、話し合われました。支援者ができる対応としては、活動開始前に、トイレ等の不審者が潜める場所をすべてチェックすること、不審者を活動場所の近くでみつけたら、「スタッフが声かけ・挨拶」をすること、誘導や通報等、支援者間で事前に役割分担をしておくことが挙げられました。そして、特に気をつけるべき点として、くりかえし強調されたのが、怪しい人がいたら「とにかく逃げる」ことです。対応するのが女性である場合は特に、相手に武器を取られてしまい、かえって危険となる可能性もあるため、武器等で応戦するのではなく、何よりもまず逃げるのが重要のようです。また、逃げる際には、こちら側が「怪しい」と思っていることを相手に悟られないよう、「危ない」等の言葉を使わないといった工夫も出されました。

(2) 安全対策について学ぶ

保険についての基礎知識

保険については、「コロボックル」の五十嵐さんから、保険の種類や保険をかける際に気をつける点について、お話がありました。保険の仕組みは複雑であり、素人にはわかりづらい部分が多くあるようです。そこで、実際に保険をかける際には、「誰を守るか」「どんな活動か」「どんな事故をカバーしたいのか」といった点を書き出した上で、保険会社に相談するといったお話がありました。また、主催者側が責任を回避するための手段として保険を使うのではなく、活動中に起こりうる事故や危険を参加するメンバー間で共有するとともに、子どもたちの成長にはある程度の冒険が必要で、ケガを伴うこともある、という共通認識を作ることも必要である、との意見も出されました。



安全対策のマニュアル作りについて

安全対策のマニュアル作りについては、実際にマニュアルを作った経験をお持ちの、かつらぎ地域子育て支援センターの小澤先生、「ままと～ん」の鷲田さん、児童館で活動されている松田さんから、マニュアルを作ることになった経緯や感想等の経験談をお伺いしました。

3人の方のお話に共通してみられる課題・経験は、以下の通りです。まず、共通する課題としてみられたのは、「支援者が、子どもの安全に対して、どこまで責任を負うのか/負うべきか」についてです。子どもの安全を守るのは親であること、子どもの育ちに「怪我はつきもの」であることを踏まえれば、危険をすべて排除するよりは、危険があることを認識しつつ、どのように子ども達を見守っていくのかを考えることの方が重要です。支援者は、こうした危険に対する認識やその対応策を、親に対してきちんと説明していく必要があることが共有されました。また、3人の方に共通する経験としてみられたのは、マニュアル作りが、支援の場での話し合いの契機となっていたことです。マニュアルを有効に機能させるためには、「マニュアルを作って終わり」ではなく、支援を提供する側と利用者との間で、活動内容や活動の意図について話し合う雰囲気を作り続けていくことが重要であることが確認されました。

2. 今後の学習会の課題について 第15回学習会より

第15回の学習会では、支援者として学びたい課題について話し合いました。ここでは、出された意見を、簡単にご紹介していきます。

まず、支援者に直接関わる課題として、支援者同士の「情報交換のあり方」、支援者の資質向上を図るための「研修・講座や講演会の開催」、ボランティアの育成や、無償にするか有償にするかを含めて「ボランティアの確保」に関する問題等が出されました。

また、支援の場を訪れる親子に関する課題として、「子どもの発達」に関わる専門的な知識の学習や、「ひとり親」家庭への対応の仕方、「障害のある子ども」との関わり方、「育児不安」の原因や対応方法などが挙げられました。他にも、産院・小児科医院等の「医療の状況」や子育て支援に関わる「行政の動向」を学びたいとの声も上がりました。ここで上がった課題は、今後の学習会のテーマを設定する際の材料として活用していきたいと考えています。

2007年度定期総会について

6月9日(土)に、2007年度の定期総会がありました。代表の喜多先生の挨拶の後、会議の成立が確認され(31名の会員のうち、14名が出席、葉書で議事を委任された方が10名)、小島範子さんの進行で、次の報告・審議が行われました。

< 報告 >

会務報告として、以下の点が報告されました。

・2006年度会務報告

2007年3月31日現在の会員数は31名(正会員27名、賛助会員4名)であること。計6回の世話人会を開催し、会の運営にあたったこと。

・2006年度活動報告

4回の「学習会」を開催したこと。テーマは、「親子のコミュニケーションを育てる支援」「子育て支援の場における安全・安心(1)～(3)」であったこと。

第13号から第15号までの「ニュース・レター」を発行したこと。

2006年9月30日(土)に、つくばインフォメーションセンター大会議室を会場に、「つくば市の子育て支援を考える 2006」を開催したこと。テーマは「子育て支援って何でも屋さん?!～」。

2007年1月から、毎月、筑波大学共生教育学(教育社会学)研究室とともに「つくば市子育てカレンダー」の編集・制作を行っていること。発行は、つくば市こども課子育て支援室、子育て支援センター。

関係の団体・サークルのイベント等に後援、協力を行ったこと。

・その他

ホームページ開設の準備を行ったこと。

< 審議 >

次いで、次のことが審議され、承認されました。

・2006年度決算及び監査報告について

監査の金子和雄さん、大内京子さんの監査報告とともに、別表1の決算が承認されました。

別表1 2006年度決算

収入	科目	細目	予算額	決算額
	会費収入		正会員(当該年度 2,000円×27名)	-
賛助会員(当該年度 3,000円×4名)			-	12,000
参加費収入		「子育て支援を考える2006」500円×38名	-	19,000
保育料収入		500円×12名	-	6,000
収入合計			-	91,000

支出	科目	細目	予算額	決算額
	講師謝金		子育て支援を考える2006	-
子育て支援を考える/学習会			-	20,650
通信費		ニュース・レター送付/学習会案内送付	-	38,300
交通費		子育て支援を考える2006 講師打合せ	-	1,600
会合費		子育て支援を考える2006 お茶代・講師昼食代	-	1,787
保険料		ボランティア保険	-	2,200
支出合計			-	79,537

収入合計	91,000
支出合計	79,537
次年度繰越金(-)	11,463

・2007年度活動計画について

次の活動計画が承認されました。

- ・「学習会」の開催
- ・「ニュース・レター」の発行
- ・「つくば市子育てカレンダー」の編集・制作（発行：つくば市こども課子育て支援室）
- ・「かるがも・ねっと」ホームページの開設
- ・「かるがも・ねっと」の案内チラシの作成
- ・「つくば市の子育て支援を考える 2007」の開催
- ・「つくば市子育て支援資源調査」の実施（共同実施：筑波大学共生教育学（教育社会学）研究室）
- ・その他 関係団体・サークル、つくば市等の実施する子育て支援事業に対する協力（生涯学習課所管「家庭教育支援総合推進事業」の実施等を含む）

・2007年度予算について

別表2の予算が承認されました。

別表2 2007年度予算

	科目	細目	予算額	対前年度増減
収入	会費収入	正会員（当該年度 2,000円×30名）	60,000	6,000
		賛助会員（当該年度 3,000円×5名）	15,000	3,000
	参加費収入	「子育て支援を考える2007」500円×40名	20,000	1,000
	保育料収入	500円×15名	7,500	1,500
	前年度繰越金		11,463	11,463
	収入合計		113,963	22,963

	科目	細目	予算額	対前年度増減	
支出	講師謝金	子育て支援を考える2007	15,000	0	
	保育謝金	子育て支援を考える/学習会	25,000	4,350	
	通信費	ニュース・レター送付/学習会案内送付	45,000	6,700	
	印刷費	諸案内/学習会資料	5,000	5,000	
	物品費	文具/雑貨	2,000	2,000	
	会合費	子育て支援を考える2007等	2,000	213	
	保険料	ボランティア保険	2,500	300	
	契約料	インターネット プロバイダ(HP掲載)	6,000	6,000	
	予備費		11,463	11,463	
		支出合計		113,963	

・2007年度役員について

別表3の役員が承認されました。

別表3 2007年度役員

・代表	喜多路江（つくば市地域子育て支援センター）	
・副代表	星埜祥子（子育て休憩室）	
	飯田浩之（筑波大学共生教育学（教育社会学）研究室）	
・世話人		
	五十嵐 泉（自主保育コロポックル）	永長一乃（ベビマ研究所親子サークル）
	岩村一代（つくば市社会教育指導員）	森 幸子
	小澤孝子（かつらぎ保育園）	矢野智子
	小島範子（つくば市主任児童委員）	鷲田美加（NPO法人 ままとーん）
	富岡紀子（つくば市社会教育指導員）	
・監査		
	大内京子（つくば市民生委員・主任児童委員）	
	丹羽絢子（つくば地区更生保護女性会）	

* * * * *
お知らせ * * * * *

第 16 回 学習会 を 開催 します。ぜひ 参加 下さい。

本年度 2 回目 の 学習会 では、「子育て 支援 情報」を テーマ とし、支援 情報 の 内容 ・ 提供 方法 の 検討 を 通じて、より 良好 な 情報 提供 の あり 方 を 考えて いたい と 思います。
お忙しい と は 存 じ ますが、どうぞ 参加 下さい。

テーマ：ちゃんと使える子育て支援情報！ - その内容と提供の仕方を考える -

日時：2007 年 7 月 30 日（月） 13：30～16：00

場所：桜庁舎 4 階 第 4 会議室 保育あり（要予約・保育料 500 円）

問い合わせ：TEL：857 - 9037（つくば市地域子育て支援センターけやき広場）

E-mail：karugamo_net@yahoo.co.jp

情報提供の難しさを実感しています カレンダーの発行について

かるがも・ねっとが毎月、発行している「つくば市子育てカレンダー」ですが、各号ごとに、B4 サイズ / A4 サイズと、サイズが異なっているのにお気づきでしょうか。実は、「子育て中のお父さん・お母さん方が見やすい文字の大きさ」を保ちつつ、「各施設・機関が配布しやすい大きさ」を満たすには、どの用紙の大きさがいいかがなかなか決められず、頭を痛めている状態です。カレンダーの発行を開始してから半年、改めて情報提供の難しさを感じています。用紙の大きさが確定するまで、もうしばらくお待ちください。

< 現時点（2007 年 5 月号）でのカレンダーの発行部数・配布先 >

発行部数：2,500 部

配布先：地域子育て支援センター，市庁舎窓口，公民館・ふれあいプラザ，
児童館・児童センター，市民活動センター，中央図書館，保健センター，
社会福祉協議会，民生委員会，小児科医院等

カレンダーの内容・発行について、ご意見、ご感想等がありましたら、かるがも・ねっと（karugamo_net@yahoo.co.jp / FAX：853-4829）まで、ご連絡ください。

みんなで七夕飾りをつくろう！

センタービル 2 階のペDESTリアンで、みんなで七夕飾りを作って、
笹につけて、飾りましょう。七夕飾りの講習会もやります。
子育てサークルや、子育て支援サークルで、各自一本飾れると良いな～。



日時：8 月 4 日（土） 15：00～17：00

5 日（日）七夕飾りを楽しみましょう！

参加したいサークルは、団体名・団体人数・代表者名・連絡先を、
子育て休憩室の星埜まで、FAX（851 - 5263）でご連絡下さい。

発行：つくば市子育て支援ネットワーク **かるがも・ねっと**

「かるがも・ねっと」は、つくば市にある子育て支援に関わる

機関・団体・サークル・ボランティアのネットワークです。

発行日：2007 年 7 月 7 日

編集：飯田浩之・岩村一代・遠藤宏美・丹治恭子

連絡先：【E-mail】karugamo_net@yahoo.co.jp

【FAX】 029 - 853 - 4829（筑波大学教育社会学研究室）